

第 15 回大阪大学専門日本語教育研究協議会

学部初年次から大学院博士課程までの学習・研究活動に必要な 日本語ライティング教育実践の諸相

日時：2023年2月15日（水）13:30～17:00（予定）（受付：13:10-）

場所：コンベンションセンターMO ホール（予定）

主催：大阪大学国際教育交流センター

---- プログラム ----

		総合司会 国際教育交流センター准教授	西村 謙一
13:30～13:35	開会の挨拶	国際教育交流センター センター長	有川 友子
13:35～13:50	趣旨説明と報告	国際教育交流センター 教授	村岡 貴子
13:50～14:50	講演 1 :		
	論文の読解から作成に向けて気づきを促すー留学生・大学生のための練習と教材化のアイデアー（仮）		
		立命館大学 経営学部 教授	大島 弥生
14:50～15:50	講演 2 :		
	科学分野を主とする高校から大学院まで一貫した日本語ライティング教育		
		大阪大学 全学教育推進機構 教授	堀 一成
15:50～16:10	休憩		
16:10～16:55	全体討論	全体討論司会 国際教育交流センター准教授	中俣 尚己
		立命館大学 経営学部 教授	大島 弥生
		大阪大学 全学教育推進機構 教授	堀 一成
		国際教育交流センター 教授	村岡 貴子
16:55～17:00	閉会の挨拶	国際教育交流センター 教授	義永美央子

ご参加の方は、以下から出席のお知らせをお送りください。（2/13ㄹ切）

<https://forms.office.com/r/LmBQ2pNgvn>

第 15 回大阪大学専門日本語教育研究協議会

学部初年次から大学院博士課程までの学習・研究活動に必要な 日本語ライティング教育実践の諸相

背景と主旨

コロナ禍となって以来、大学における日本語教育を取り巻く種々の環境が目まぐるしく変化しています。この間、多くの大学で、教員が個別にあるいは協働で、コースデザインに関わるシラバス作成から成績評価終了まで、多様な日本語教育の内容・方法の検討を続けてきました。学部・大学院レベルともに、個々の学部・研究科等が当該所属の学生に授業を提供する方法に加え、全学的な取り組みや、相互乗り入れといった部局間の連携を行う場合もあり得ます。さまざまな取り組みが行われている中、この時点で、各々の教育実践を振り返り、今後の展開について議論を共有することは、有意義であると考えられます。

今回は、特に、大学における日本語によるライティング教育にフォーカスしたテーマを設定しました。ライティングは、専門分野を問わず、大学の学部初年次から大学院博士課程まで、レポート・論文の作成や発表、研究活動に必要な報告といった成果発表に関するものに加え、研究上必要な調査票や依頼文等、さまざまな局面で必須とされる活動です。本協議会では、多様な在学段階の学生を対象として、教員は、必要な日本語のライティング教育をどのように行ってきたのか、また、それぞれの困難点をどう克服してきたのか等について、具体的な実践例を共有して議論を行いたいと思います。その際に、学部・大学院横断的、専門分野横断的といった、より広い視野に立って、種々の教育実践を振り返り、今後を展望できればと思います。

講演者として、特にアカデミック・ライティング教育研究等で活躍なさっている専門家の立命館大学の 大島弥生先生と大阪大学の 堀一成先生にご講演いただき、CIEE からも報告を行った上で、全体討論において、参加者の方々と今後を展望したいと思います。